中国最大級 国際介護福祉展「AID」開催レポート

日系企業の出展者数 過去最多

3日間で5万7000人来場/シルバー産業活況

▶熱気に包まれた場内

日中福祉プランニング
王 青代表

6月13～15日、中国・上海市で国内最大級の国際介護福祉展「AID」（旧China Aid）が開催された。主催者によると、出展者数450社、展示面積4万6000平米、来場者数5万7000人と過去最高を記録したという。

海外企業は日本、オーストリア、ドイツ、フランス、韓国、台湾など計16の国・地域から出展した。なかでも日系企業が最も多く過去最多の73社だった。

盛況ぶりを見せた背景には、①急速に進む高齢化に伴い、政府が「シルバー経済の発展を加速させる」方針を打ち出したこと、②経済低迷に伴い、異業種によるシルバー産業への参入が増加したこと、があげられる。

中国の65歳以上の高齢者人口は14・9％で2億1000万人に達している。1962～63年のベビーブーム世代が膨大な高齢者予備軍として待ち構えており、2050年には高齢者人口が3億6000万人になる見込みだ。国家情報センターの責任者は「中国のシルバー経済の市場規模は約140兆円であり、35年には、約600兆円にまで拡大する」と取材で述べた。

政府は今年1月、「高齢者の幸福を高める『銀髪経済（シルバー経済）』の発展に関する意見（政策）」を発表。高齢者事業の加速に向けて方針を示したのである。

コロナ収束後、中国経済の回復は予想以上に鈍化しており、業績が振るわない企業が少なくない。生き残り戦略として成長産業である高齢者事業にシフトする企業も多い。家電メーカー最大手のハイアール社や家具・建材卸大手のRed Star Macalline社がその例だ。

AIDの主催者によるとテクノロジーを活用した見守りサービスや人手不足対策などのICT関連企業の出展が急増し、全体の25％を占めたという。歩行支援ロボットスーツや緊急事態の際に、床・壁をノックすると家族・関係者のスマートフォンに知らせる音識別システムなどを体験する来場者が後を絶たなかった。

◆◆◆

日本ブースも賑わっていた。これまでAIDの開催に合わせてマッチング商談会などを実施し、日系企業をサポートしてきたJETROは、今年も約300平米の共同ブースを設けた。JETROが出展料を負担し、28社が出展した。

▲日系企業のブース

また、現地で福祉用具レンタル事業を展開中のヤマシタが率いる日系企業約20社が共同出展した。体験型モデルルームのような空間を演出し、在宅の高齢者を中心とした日本の「地域包括ケアシステム」をアピールした。

今回初出展したユニ・チャームのブースでは、成人用おむつや尿とりパットなどのサンプルを配布し、大勢の人が集まっていた。近年、中国国内のオムツメーカーが急成長している。ECサイトなどの流通が整備されており、日本製の半額ほどで販売されている。日系企業にとっては、手強い競合である。ユニ・チャーム担当者は「最期まで高齢者の尊厳を守る排泄ケアの考え方を伝え、普及させたい。通気性の高さなど、品質で勝負したい」と語った。

そのほかパナソニックや三菱電機、カワムラなどのそうそうたる企業が出展したほか、貿易関係や中小企業が集まる「日本パビリオン」も設置された。

筆者は全3日間のうち2日間会場を訪れた。両日とも会場内は人で溢れ、熱気に包まれていた。

◆◆◆

新型コロナウイルス感染拡大や中国の政治・経済の変化などにより、近年日中関係は良いとは言い難い。そのため、中国から撤退したり、中国事業を縮小させたりする日系企業が少なくない。逆風の中、日本から多くの企業が参加したのはなぜだろうか。

ヤマシタ、シェア85％

上海JETROの担当者は「中国の高齢者市場に高い関心や可能性を感じているが、一歩を踏み出せていない中小企業を支援する意味で取り組んだ」「中国全土からバイヤーが集まるため、情報収集や販売ルートの開拓には絶好の場。出展して良かったと出展者から評判上々だった」とコメント。

ヤマシタHC事業本部の担当者は、「来場した各政府関係者が地域に足りないものや強化すべきことをしっかり理解されており、非常に有意義な意見交換ができた」と振り返った。ヤマシタは現在、上海の福祉用具レンタル事業でシェア85％を占めており、高齢者の身体能力の評価や福祉機器の理念、福祉用具専門相談員資格制度の人材育成など、多岐にわたって発信している。

同時開催されたシンポジウムやセミナーはどれも満席。テレビや新聞、SNSでも取り上げられ、まるでお祭りのような3日間だった。

アジア最大級の福祉展示会「国際福祉機器展（H.C.R）」の規模を超える日は、そう遠くないかもしれない。

主催／高齢者住宅新聞社

介護事業経営を“強くする”展示会

第17回
住まい×介護×医療展
2024 in 東京

超高齢社会ニッポンを考える

2024年8月6日(火)・7日(水)
2日間共 10:00～17:00

東京ビッグサイト 西1・2ホール 東京都江東区有明3-11-1

来場事前登録受付中!!
来場には事前登録が必要です。

公式サイトでセミナーや出展者情報を掲載しています。

入場・セミナー聴講無料

後援／厚生労働省
一般社団法人全国介護事業者連盟
一般社団法人全国介護付きホーム協会
公益社団法人全国有料老人ホーム協会
公益社団法人全国老人福祉施設協議会
公益社団法人全国老人保健施設協会
一般社団法人日本デイサービス協会
一般社団法人日本作業療法士協会
公益社団法人日本認知症グループホーム協会
一般社団法人日本慢性期医療協会

見どころ
●介護ビジネスに関するセミナー 44講座
●「従業員の介護離職防止」相談コーナー
●高齢者向け住まいを運営する事業者向け相談コーナー
●第8回 日台介護産業交流サミット2024